

教職員の 生涯設計

vol.
124
2024 spring



休刊のご挨拶

一般財団法人 教職員生涯福祉財団
理事長

吉田 大輔



生き
がい

障がいのある方と豊かな生活を

元公立小学校校長
NPO法人若草の会 事務局長

木内 洋子



健康

免疫力アップで 病気に負けない身体づくり

純真学園大学客員教授
医学博士

監修 飯沼 一茂



経済

新NISAを上手に活用するために 知っておきたいこと

ばばえりFP事務所代表
ファイナンシャルプランナー

監修 馬場 愛梨



生涯
学習

日本五大桜



障がいの ある方と 豊かな生活を



もうすぐ
47年



今から46年前、中学校特殊学級(現在の特別支援学級)の卒業生と元担任がまいた小さな種が「若草の会」として大きく育ち、現在100名を超える会員(18歳から70歳代)と約20名のスタッフが毎月第1日曜日(原則)に活動しています。

「若草の会」は障がいのある方が、学校卒業後も家庭と職場以外にも生活の場を広げ、気の合う仲間をみつけて楽しんだり、さまざまな経験を積んだりする豊かな生活を目ざしています。

きうち ようこ
木内 洋子

元公立小学校校長
NPO法人若草の会 事務局長



1 「若草の会」との出会い

1977年、船橋市内の中学校の特殊学級卒業生が、「学校卒業後も仲間と一緒に勉強したい」と元担任の渡辺先生に相談したことから「若草の会」が始まりました。

私がこの会と出会ったのは、船橋市内の小学校に着任した2年目のことでした。小学校特殊学級の担任として、目の前のことで精一杯だった頃です。

月に1回、市内の特殊学級担任研修会があり、この教育に情熱を燃やしているたくさんの先輩や同僚の方々が参加していました。

その会では教育課程のこと、卒業後の進路のこと、障がいのある子どもとその家族が社会の中で置かれている状況についてどのように考え、対応したらよいか等、毎回熱い議論を交わしていました。その中の一人、隣の中学校の担任だった渡辺先生が、「卒業生が集まって日曜日に、遊んだり話し合ったりしているから、のぞきにこないか」と声をかけてくださったのがきっかけです。

その頃は、ほとんどの中学校特殊学級卒業生は15歳で社会に出て、いろいろな職場で働いていました。厳しく叱られたり、指導されたりして辛いこともあったことでしょう。はじめは元気がなかったのに、この集まりで励まし合ったり、元気をもらったりして、笑顔になって帰る参加者たち、私も「この子たちに負けないでがんばろう」と、いつも元気をいただいていた。

2 「若草の会」にしよう

「若草の会」という名称は、1980年、会員たちの話し合いで決まりました。その年に「ニュース第1号」が出て、1981年4月から会の様子と次回の連絡を中心に月1回のニュースを発行してきました。4月の総会で年間計画を話し合い、会員たちは、自分が参加したいテーマを選んで参加しています。

当初、中学校の一教室を借りてやっていた会も、船橋中央公民館の主催事業に位置づけていただくことができ、会場は中央公民館を優先的に確保していただけるようになりました。ニュースの発送も公民館の職員が担ってくださっています。



3

旅行・ソフトボール… 参加は自由です

旅行は、楽しみにしている会員が多い取り組みです。1泊2日、仲間たちと温泉に入ったり、宴会をしたりします。20歳以上の会員の中には、お酒を飲むのを楽しみにしている方もいます。班対抗カラオケ大会では、班のみんなで歌える歌を選んで、マイクを回して、盛り上がります。



一泊旅行(那須方面)

毎年3月には会員たちで役員選挙を行い、会長、副会長、役員を決めます。その役員たちが中心になって会の運営を担っています。班をまとめるのも役員の仕事、ハイキング等で出かけるときは、スタッフと一緒に人数の把握や集金等を行います。

有志によるソフトボールのチームもでき、月1回の定例会のほかに船橋特別支援学校のグラウンドを借りて練習をしたり、近隣の障がい者チームと試合をしたりして楽しんでいます。



ソフトボール大会開会式

4

青年教室『若草の会』 40周年記念式典

2017年3月5日(日)、船橋市中央公民館講堂にて、船橋市長はじめ、多くの来賓の方々に出席いただき、青年教室『若草の会』設立40周年の記念式典を行いました。以前スタッフとして関わってくれた方々や保護者、そして、元会員、中には、遠く山形県や宮崎県に転居した方まで駆けつけてくださり、盛大な式典を行うことができました。

退職して4年目、私は運営委員長として若草の会40周年記念式典や、記念誌の作成に携わりました。40年間、継続できたのは会を楽しみにしている会員たちとそれを支えてきた多くのスタッフや保護者、船橋中央公民館のおかげだと改めて思いました。



運動会(せんべい食い競争)



趣味講座(調理活動)



ボウリング

5

もうすぐ47年、 そしてこれからも…

40周年から6年、会の始まりから実に46年を過ぎようとしています。

その間、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、活動を休止せざるを得ない時期もありましたが、2部制にしたり、より広い会場を用意したりと感染防止対策をしながら活動を再開しました。幸いなことに、感染者も出さずに、今年度からは、旅行も再開することができました。

保護者会は年に2回開催して、情報交換を行っています。以前の保護者会で、「弟が毎月楽しみにしている若草の会ってどんなことをしているのか知りたいと思って」と会員と二人暮らしのお兄さんが参加されました。その後、会員である弟さんが亡くなってしまった時に、「中学を出てから、よく働き、月1回の若草の会という楽しみを持たせた弟は幸せだったと思います」と挨拶をいただきました。

6

おわりに

障がいのある方々が社会でどのように生きていくのか、少しでもその人生を応援したいという思いで活動に携わってきましたが、気がつくと私自身もこの活動に関わったおかげで、人生をより豊かにしてもらっていると感じています。